

松くい虫被害およびナラ枯れ被害の予防について

森林・林業に大きな損失をもたらす松くい被害及びナラ枯れ被害が発生しております。

松くい虫被害は、マツノザイセンチュウという小さな線虫がマツの木に侵入することによって、マツが枯れてしまう伝染病で、ナラ枯れ被害はカシノナガキクイムシの体に付着したナラ菌がナラ類の内部に持ち込まれ発生する被害です。

もし、松くい虫被害、ナラ枯れ被害が、県内にまん延することになれば、農林水産業をはじめとする産業・経済のほか、本県が誇る自然景観や観光資源などに大きな影響を与えます。

松くい虫被害を防ぐためには、葉が黄色に変色した松谷枯れた松を早い段階で取り除くことが大切です。

自宅の庭木や街路樹など、身の回りで枯れているマツや枯れかかっているマツを見つけたときは、役場産業建設課または下北地域県民局林業振興課、森林組合までお知らせください。

大切な松を松くい虫被害から守り、次の世代へ引き継いでいくため御協力をお願いします。

【お問合せ】 役場産業建設課	☎ 38-2111
下北地域県民局林業振興課	☎ 22-3211
下北地方森林組合	☎ 22-1041

スプレー缶、カセットボンベの処分について

最近、スプレー缶（エアゾール缶）、カセットボンベなどの処分について、穴を開けずに出す方が増えています。

中身の残った状態でごみとして出すと、収集車やごみ処理施設での火災の原因となることがあるため、大変危険です。

必ず中身を使い切って、穴を開けてから出してください。

スプレー缶の出し方

- 必ず中身を使い切ってください。そのあとにガス抜きを行ってください。
- ガス抜きについてですが、現在のほとんどのスプレー缶にガス抜き装置（キャップ）が取り付けられていますので、缶内部に残ったガスを最後まで抜くことができます。
- ガス抜きは、商品本体の説明書きに従い、屋外などの風通しがよい火気のない場所で行ってください。
- その後、専用の穴開け装置などを用いて、穴を開けてから、燃えないごみの日に出してください。

カセットボンベの出し方

- 「カセットボンベ」には、ガス抜き装置がついていませんが、ヒートパネルを搭載したカセットコンロを使用することで、ガスを最後まで使い切ることができます。
- 使い切ったらスプレー缶同様、屋外などの風通しがよい火気のない場所で専用の穴開け装置などを用いて、穴開けを行ってください。
- 穴開け後は、燃えないごみの日に出してください。
- ご不明な点は、社団法人日本ガス石油機器工業会カセットボンベお客様センター（☎0120-14-9996）へお問い合わせください。

そのほかのごみについても、分別ルールをしっかりと守り、安全で安心な収集ができるよう、ご協力をお願いします。

【お問合せ】 住民生活課 住民係 竹内（智）

